

ワンポイント K Y	1 人 K Y	個別 K Y
<p>4ラウンドのうち、2R、3R、4Rをすべてワンポイントに絞りこむ短時間KYの手法。</p> <p>※始業前ミーティングでは、この手法を活用するとよい。</p>	<p>一人ひとりが、作業中において、即時即場的に危険ポイントを予測確認し、安全な作業行動をとらせるための単独KY手法</p>	<p>特に問題のある作業（経験、知識技能、性格など）や特に危険な作業を行わせる作業員に対して、チームのKYに追加し、個別的に危険予知して指示を追加し、きめ細かいワンポイントアドバイスを行う。</p>
<p>・できるだけ小人数のチームとし、メンバーの1人がリーダーとなる。 ※イラストシート用いる場合は、できるだけ簡単な、ポイントを絞りやすいものとする。</p>	<p>・「自問自答カード」を準備する。 ・訓練の場合は、「1人KYカード」を使用させる。</p> <p>※イラストシートを用いる場合は、できるだけ簡単な、ポイントを絞りやすいものとする。</p>	<hr/>
<p>・作業（手順、動作）の中で「どんな危険がひそんでいるか」を「～なので～となる」と発言していく。 (3項目程度)</p>	<p>・どんなことでケガをするか、自問自答しながら、危険現象（結果）を出す。 (1人で)</p>	<p style="text-align: center;">自問自答ポイント</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>←</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 墜落することはないか。</li> <li>2. はさまれることはないか。</li> <li>3. まきこまれることはないか。</li> <li>4. 上から物が落ちてこないか。</li> <li>5. 切れ、こすれることはないか。</li> <li>6. ころぶことはないか。</li> <li>7. 激突することはないか。</li> <li>8. 腰を痛めることはないか。</li> <li>9. 感電することはないか。</li> <li>10. その他 ( )</li> </ol> </div>
<p>・「危険のポイントは何か」を問いかけ、重要危険をワンポイントに絞って、指差唱和する。「危険のポイント～なので～となるヨシ！」</p>	<p>・特に危険と思われるものを1点に絞り、その要因を考えて、1人で指差唱和する。「危険のポイント～なので～となるヨシ！」</p>	<p>・チームの2RKTに引き続いて、リーダーはメンバーの一人ひとりに対する個別のKYを行う。</p> <p>・指示の仕方は、 A君は～に気をつけてくれ B君は～を必ず実行すること C君は～を忘れないように などという個別のワンポイントアドバイスを行ったあと、メンバーに復唱させる。</p>
<p>・上記のワンポイントについて、どうしたらよいか話しあい具体的に対策を決める。(1項目)</p> <p>・対策のなかからワンポイント指差唱和項目を決め、3回連呼する。「～ヨシ！」</p>	<p>・危険のポイントについて、対策を考え、行動目標を決めて1人で指差呼称する。「行動目標～を～して～しようヨシ！」</p> <p>・行動目標のなかからワンポイント指差呼称項目を決め、1人で3回連呼する。「～ヨシ！」</p>	
<p>・全員立ったままで、5分以内で完了することが望ましい。 ・1ラウンドのみ話しあい、2ラウンド以降をすべてリーダーが指示してもよい。</p>	<p>・3Rの「対策」と4Rの「行動目標」を統合して実施する。</p>	<p>・個別KYのみの単独訓練は行わず、他のKY手法のなかに織りこんで行う。</p>